



技術紹介

My-IoT 開発プラットフォーム

現場で生まれる、現場のためのIoTシステムを!

本技術の概要

IoTの普及を阻む本質的な理由は、IoT利用の「多様性」とシステム提供の「画一性」の隔たり(→IoT ギャップ)の存在にあります。My-IoT開発プラットフォームは、利用者と提供者が手を取り合って低コストでIoTシステム開発・利用できるプラットフォームです。これによりIoTギャップを解消し、IoTの普及を目指します。

本技術のポイントと解説

● loT システムを「簡単に」導入できる!

My-IoT開発プラットフォームでは、「My-IoTストア」とよばれるIoTアプリケーション(システムパッケージ:エッジ環境とクラウド環境にて連動して動作するアプリの組)が登録されています。ユーザはシステムパッケージをダウンロードするだけで、エッジとクラウドが連動したサイバーフィジカルシステムを手元で簡単に導入し、その効果を自ら試すことができます。

● IoT システムを「簡単に」開発できる!

My-IoT開発プラットフォームでは、エッジコンピューティング環境にて電源を投入するだけで、My-IoT開発プラットフォームが準備するクラウド環境(AWS)とのデータ送受信が可能となります(ただし、事前の登録処理が必要)。また、ローコード開発が可能な環境(Node-RED)の利用や、My-IoTストアに登録された過去の設計資産の再利用などにより、新たなIoTアプリケーションを短期かつ低コストで開発することが可能です。

● IoT システムを「簡単に」管理・運用できる!

My-IoT開発プラットフォームでは、多数のエッジコンピューティング環境に対してIoTアプリケーションを一度に配布したり、各エッジの状態を監視(インストール状況、ハードウェア資源利用状況、稼働/停止状況、など)することができます。これにより、IoTアプリケーションのアップデートを含め、効率的なIoTシステム全体の状況把握と管理が可能になります。

